

《貝瀬幸雄先生業績目録》

著書（単著）

1. 『1986年オランダ新仲裁法研究』（1988年3月 国際商事仲裁協会）
2. 『国際倒産法序説』（1989年10月 東京大学出版会）
3. 『国際化社会の民事訴訟』（1993年4月 信山社）
4. 『比較訴訟法学の精神』（1996年8月 信山社）
5. 『ヨーロッパ連合倒産条約の研究』（2000年4月 商事法務研究会）
6. 『国際倒産法と比較法』（2003年8月 有斐閣）
7. 『普遍比較法学の復権』（2008年11月 信山社）
8. 『比較法学入門』（2019年2月 日本評論社）
9. 『現代アメリカ比較法学の行方——マティアス・ライマンの比較法学を中心に』（2022年11月 日本評論社）

論文

1. 「国際的合意管轄の基礎理論（1）（2・完）」『法学協会雑誌』102巻5号 978-1044頁・7号（1985年）1369-1418頁
2. 「国際裁判管轄の合意」澤木敬郎 = 青山善充編『国際民事訴訟法の理論』（1987年，有斐閣）77-131頁所収
3. 「国際裁判管轄の合意——日本法の状況」三ヶ月章 = 青山善充編『民事訴訟法の争点〔新版〕』（1988年，有斐閣）70-73頁
4. 「オランダ王国」小島武司 = 高桑昭監修『注解仲裁法』（1988年，青林書院）669-678頁
5. 「アメリカ合衆国における外国判決の承認——その基礎理論および効果」『三ヶ月章先生古稀祝賀 民事手続法学の革新 上巻』（1991年，有斐閣）481-528頁
6. 「外国倒産と内国訴訟の中断」『ジュリスト』977号（1991年）83-90頁
7. 「離婚事件の国際裁判管轄小考」『名大法政論集』140号（1992年）1-27頁
8. 「外国倒産のわが国における効力」『民事訴訟雑誌』38号（1992年）186-198頁
9. 「倒産法——国際倒産」『ジュリスト』1000号（1992年）212-218頁
10. 「国際民事訴訟法への道案内」貝瀬幸雄『国際化社会の民事訴訟』（1993年，信山社）3-137頁に書き下ろしで初出
11. 「国際倒産法の比較立法論的考察——日独国際倒産法案対比」貝瀬幸雄『国際化社会の民事訴訟』（1993年，信山社）592-615頁に書き下ろしで初出

12. 「比較訴訟法学の現在」『名大法政論集』147号（1993年）1-42頁
13. 「日本の民事裁判」加藤雅信編『現代日本の法と政治』（1994年，三省堂）56-70頁
14. 「比較国際倒産法」石黒一憲 = 貝瀬幸雄 = 佐藤鉄男 = 弥永真生 = 真船秀郎 = 土橋哲朗『国際金融倒産』（1995年，経済法令研究会）147-320頁
15. International Aspects of Insolvency Proceedings: Japanese Report 貝瀬幸雄『比較訴訟法学の精神』（1996年，信山社）169-199頁 5th World Congress of Procedural Law（1995）に提出
16. 「ヨーロッパ裁判法典への憧憬」貝瀬幸雄『比較訴訟法学の精神』（1996年，信山社）257-299頁に書き下ろしで初出
17. 「仲裁契約当事者の倒産」松浦馨 = 青山善充編『現代仲裁法の論点』（1998年，有斐閣）189-198頁
18. 「仲裁契約の効力の範囲——主観的範囲を中心に」松浦馨 = 青山善充編『現代仲裁法の論点』（1998年，有斐閣）140-153頁
19. 「仲裁人の忌避」松浦馨 = 青山善充編『現代仲裁法の論点』（1998年，有斐閣）210-219頁
20. 「国際倒産法における倒産保全処分」松浦馨 = 伊藤眞編『倒産手続と保全処分』（1999年，有斐閣）225-255頁
21. 「EU規則（regulation）との比較」『金融・商事判例』1112号（2001年）65-85頁
22. 「比較民事手続法学へのチチェローネ——比較民事手続法学のアイデンティティと効用」『新堂幸司先生古稀祝賀 民事訴訟法理論の新たな構築 上巻』（2001年，有斐閣）97-162頁
23. 「倒産国際私法」高桑昭 = 道垣内正人編『新裁判実務体系3 国際民事訴訟法（財産法関係）』（2002年，青林書院新社）526-536頁
24. 「現代アメリカ比較法学の行方」『法学』66巻4号（2002年）1-39頁
25. 「EUの金融機関国際倒産法制——比較法学の観点から」『金融研究』25巻（2006年）97-139頁
26. 「ヨーロッパ民事訴訟法序説——ロルフ・シュテュルナーの「ヨーロッパ民事訴訟法」研究を中心に」『小島武司先生古稀記念論文集 民事司法の法理と政策 上巻』（2008年，商事法務）193-241頁
27. 「普遍比較法学の復権——杉山直治郎の比較法学」『立教法務研究』第1号（2008年）29-103頁
28. 「比較民事手続法学のプロムナード——「チチェローネ」以後」『青山善充先生古稀祝賀論文集 民事手続法学の新たな地平』（2009年，有斐閣）1007-1048頁

29. 「比較法学者たちの饗宴 (1) (2) (3) (4) (5・完)」『立教法務研究』第3号 (2010年) 1-31頁・同第5号 (2012年) 27-158頁・同第8号 (2015年) 111-257頁・同第10号 (2017年) 13-91頁・『立教法学』第108号 (2023年) 1-124頁
30. 「歴史叙述としての民事訴訟 (1) (2) (3) (4) (5・完)」『立教法務研究』第6号 (2013年) 1-82頁・同第7号 (2014年) 221-295頁・同第9号 (2016年) 369-407頁・同第10号 (2017年) 13-91頁・同第12号 (2019年) 25-88頁
31. 「手続的ユス・コムーネの再生」『伊藤眞先生古稀祝賀論文集 民事手続の現代的使命』(2015年, 有斐閣) 1301-1324頁
32. 「続 マティアス・ライマンの比較法学 (1) (2) (3)」『立教法務研究』第13号 (2020年) 5-65頁・『立教法学』第103号 (2020年) 1-71頁・同第104号 (2021年) 1-62頁
33. 「ヨーロッパ民事訴訟法史論——歴史叙述としての民事訴訟 (1)」『立教法学』第101号 (2020年) 15-73頁
34. 「ヤーコ・フサの「法とグローバリゼーション入門」について」『立教法学』第102号 (2020年) 70-94頁
35. 「コスモポリタン法学序説 (1) —— 「パトリック・グレン追悼論集」について」『立教法学』第107号 (2022年) 1-86頁

判例評釈

1. 「東京高判昭和57年3月31日判例時報1042号100頁」『ジュリスト』791号 (1983年) 108-111頁
2. 「大阪地判昭和58年4月22日判例時報1090号146頁」『ジュリスト』826号 (1984年) 109-112頁
3. 「東京地裁中間判決昭和57年9月27日判例時報1075号137頁」『ジュリスト』852号 (1986年)
4. 「大審院明治35年6月17日判決民録8-6-85頁」新堂幸司 = 霜島甲一 = 青山善充編・『新倒産判例百選』(1990年) 254-255頁
5. 「最判昭和39年3月25日民集18巻3号486頁」新堂幸司 = 青山善充 = 高橋宏志編・『民事訴訟法判例百選I』(1992年) 42-43頁
6. 「東京地裁中間判決平成18年4月4日判例時報1940号130頁」『判例評論』579号 (2007年) 203-208頁

エッセイ等

1. 「比較法学者たちの軌跡——『立教ローフォーラム』最終号に寄せて」『RIKKYO

LAW FORUM』第10号（2020年）7-9頁

2. 「比較法と国際商事仲裁——Ius Comparatum Journal (ICJ) の創刊に寄せて——」『法学周辺』No.55（2023年）120-132頁